



箏アーティスト
レオ
LEOさん

1998年横浜生まれ。横浜インターナショナルスクールで9歳の時に箏と出会い、音楽教師であり箏曲家のカーティス・バターソン氏の指導を受け、のちに沢井一恵氏に師事。16歳で「くまもと全国邦楽コンクール」史上最年少最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。2017年、『玲央1st』でメジャーデビュー。これまで5枚のアルバムを発表している。2019年「第29回出光音楽賞」、「第68回神奈川文化賞未来賞」受賞。東京藝術大学在学中。
公式サイト <https://leokonno.com>

若手箏奏者として注目を浴びるLEOさん。次代を担うと期待を集める存在だ。古典音楽にとどまらず、さまざまなジャンルとコラボレーションしながら、より広い層に着実に箏の魅力を広めている。箏にまっすぐに情熱を傾けるLEOさんに話を伺った。

あり、箏に出会う前までは学校で自分の感情をうまく表現できませんでした。箏を通じて自分を表現することを学んでいった気がします。

古典と革新

16歳の時に全国邦楽コンクールで史上最年少最優秀賞をいただいたことをきっかけに、19歳でデビューしました。幸い僕は演奏だけでやっていっていますが、業界的にはそういう人はごく一部。少しでも箏の世界の活性化に貢献したいと思い活動しています。

箏に興味を持つ人が増えてほしいと、ピアノやヴァイオリンと一緒にライブをやったり、クラシックや坂本龍一さんをはじめ現代音楽の曲を演奏したり、いろいろと挑戦をしています。ジャズのピアニストともライブを行いました。新しいことをやっても大切なのは、箏という楽器の魅力や可能性を感じていただけるように、ということ。バッハやドビュッシーを弾くには西洋的なテンポやリズムを勉強する必要がありますし、新しい演奏技術も生み出さなければいけない。苦労もありますが、西洋的な音楽の知識が箏の伝統的な曲を弾くときに生かされたりもするんです。今のお客様に箏をお届けするならこういうスタイルもありだと思います。

今はいろいろなことを試していますが、いつか古典を自分でも作りたいですね。宮城道雄先生も今でこそ古典と言われますが、当時先生がやっていたことは革新的でした。僕も、死ぬまでにこれまでにない新しい古典をこの世に残せたら本望です。

やっぱり横浜が好き

中区で育ちました。学校から近かったこともあり、よく港の見える丘公園に行き遊ん

でいましたね。中学でバスケットボールやスケートボードを始めたので、根岸森林公園や日産スタジアムの下にあるバスケットコート、スケボー広場にも通いました。バスケットは突き指をするので、箏の先生から控えるように注意されて卒業しましたが(笑)。ラーメンが大好きで、ラーメン博物館に立ち寄るのがお約束でした。

大学に進み、一時期東京で生活しましたが、また横浜に帰ってきました。生活のリズムがちょっとせわしない感じがして。横浜の開放感というか、ゆったりした感じが自分にはやっぱり合っている気がします。先日戸塚でコンサートを行いました。地元の横浜でもっと演奏したいですね。ホールもたくさんありますし、洋館で箏を演奏してみたい!僕のコンサートは約半分が箏を初めて聴く人なんです。古典も、ジャンルの違う曲も演奏しますし、曲の合間にトークも入れますのでかしまらず気軽に感じて聴けると思います。いつかまた横浜で演奏するときは、足を運んでいただければ嬉しいです。



3月18日(金)、ブルーノート東京でライブ決定!

LEO YouTube公式チャンネル
クラシックや自作曲、アニメの曲など、
さまざまなジャンルの演奏動画を
アップ中



小学4年で箏と出会う

小学校から高校までインターナショナルスクールに通っていて、小学4年の時に音楽の授業で箏に出会いました。それまで楽器をやったことはなかったのですが、箏を弾いたときに不思議と自分にじっくりくものを感じたんです。父はアメリカ人、母は日本人で、自分はずっと日本で暮らして日本語のほうが得意という環境のなか、自分のアイデンティティを模索していた時期だったと思います。箏の音色が自分の中にずっと入ってきたんですね。

僕の通っていた学校では、授業で学ぶだけでなく、広島市の福山市で毎年行われる小中学生全国箏コンクールに個人や団体で出場していました。僕も小学5、6年で初めて出場したことをきっかけに、もっとうまくな

りたいと放課後もずっと学校の音楽室で箏を練習するようになって。中学生の頃にはプロになりたいと思うようになりました。両親をはじめ周囲の大人は音楽を職業にすることに大反対。大学を卒業するまでに生活の目的が立たなかったら諦めるという約束で、藝大受験を許してもらいました。

はかない音を紡ぐ

箏という、お正月でしか聴いたことがないという方も多いかもしれませんが、音の性質がとてもはかない楽器です。音量もヴァイオリンやピアノなどと一緒に演奏するとき消されてしまうほど、あまり大きくはありません。すぐに消えてしまう音を丁寧に紡いで弾く楽器です。それが僕にとっては、感じたこと、思っていることを表現しやすいんですね。英語が上手に話せなかったことも

今しか味わえない 贅沢松茸の発酵昆布

市松茸が有名な都
市ヒマラヤ山脈の
シヤングラリラで取
れた松茸を使用。食
感が高い松茸のみ
香りがしめると厚み
にカッとする。昆布
を汁も加え、時間を
煮ると細かく見え
る松茸の香りが
閉じ込められるよう
に、丁寧に仕上げ
て。独自の製法を活
かした、渾身の逸品
です。

お一家族様5袋迄
限定500袋

お申し込み
締め切り日
1日より
1週間

昆布を裁断するときにする形が不揃いの昆布の切れ端を使って炊きあげました。形が悪いです、味は濃厚でまろやか! 訳ありで数量限定でご用意しました!



箸がとまらない松茸発酵昆布

訳ありつぶら松茸舞昆

1袋 180g **1,000円** (税込)

1袋 お買上げごとに **1袋18g入 プレゼント!!**

さらに **5袋 お買上げの方に 舞昆農園で育てた新米 ひとめぼれ3合プレゼント!!**

初回送料無料 (2回目以降は送料別途)

「M21係」
とお申し付け
下さい
●ご注文・お問い合わせはこちら ●受付時間/9:00~18:00(日曜日)
050-1865-0904

舞昆のこうばら 大阪市内直営店
天王寺店 大阪市天王寺区堀越町10-13 田辺店 大阪市東住吉区田辺4-12-1
心斎橋店 大阪市中央区久太郎町3-4-22 かがや御殿 大阪市住之江区東加賀屋1-3-40

※写真はイメージです。